

かほだより

25-3号
H25. 9. 30

長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782, 090-5444-0970
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
住所: 伊那市西町 5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

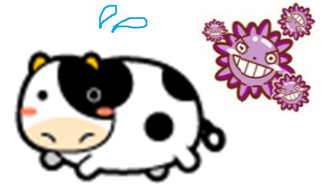
秋から冬にかけて

ウイルス性の下痢・呼吸器病にご注意を！

朝晩の寒さも感じる今日この頃、牛さんにとっても体調を崩しやすい時期です。

秋冬は、

寒冷感作や気温の変動が著しくストレスがかかる
低気温で病原体（ウイルス）が不活化されにくい
閉め切った舎飼でウイルスが伝播しやすい



色々な病気、特にウイルスに起因する消化器病や呼吸器病の集団発生が増える

特に、牛RSウイルス病と牛コロナウイルス病は毎年散発的な発生が見られ、当所管内でも昨年度5戸の農場で牛RSウイルス病が発生しています。牛RSウイルス病は、細菌やマイコプラズマとの混合感染で呼吸器症状が悪化します。牛コロナウイルス病は泌乳量の大幅な低下をきたします。いずれも経済的に大きな被害をもたらす疾病です。

牛のウイルス性の集団下痢及び集団風邪に注意しましょう。

～ 予防のポイント ～

● ストレスを軽減

適切な飼養管理（十分な換気、密飼いの防止、清潔な環境など）
輸送や導入時のケア（十分な給水、ビタミン剤等の投与）

● ワクチン接種

※詳細は担当獣医師又は家畜保健衛生所にご相談ください

病気の発症を予防し、万が一かかっても軽症ですむことが期待できます

呼吸器病対策	
5種混合生ワクチン ↑妊娠牛には不可 6種混合ワクチン	牛伝染性鼻気管炎(IBR)、牛RSウイルス病に有効 初乳を介して子牛にも免疫できる 「6種混合ワクチン」は妊娠牛に接種できる
下痢症対策	
牛コロナウイルス病 不活化ワクチン	寒冷期に流行性下痢の原因となる牛コロナウイルス 感染症対策
牛下痢5種混合不活化 ワクチン	分娩前の母牛に接種し初乳を介して子牛に免疫を付 与する

● 「病気を持ち込まない、持ち出さない」衛生対策

出入り口付近に石灰帯等を設置し、車両の出入りの際に消毒
畜舎の出入り口付近に踏み込み消毒槽を設置して靴の消毒

《 飼養衛生管理基準を守り、引き続き防疫対策に万全を期していただくようお願いします 》